

皇居・千鳥ヶ淵の桜とともに 美術館の春の名作を楽しもう 「美術館の春まつり」

皇居や千鳥ヶ淵、北の丸公園といった桜の名所エリアに立地している東京国立近代美術館。散策で巡るにも絶好のロケーションであることから、当館では桜の開花に合わせて、春にちなんだ催しを開催します。題して「美術館の春まつり」。桜が描かれた重要文化財、川合玉堂《行く春》を年に一度、この時期だけ公開するほか、春にちなんださまざまな作品が一室に並びます。また、前庭にはお花見を楽しみながらひと休みできるお休み処をご用意いたします。皇居・千鳥ヶ淵の桜と美術館の春、どちらも心ゆくまでお楽しみください。

■期間：2022年3月18日（金） - 4月10日（日）

■会場：東京国立近代美術館（東京・竹橋）



菊池芳文《小雨ふる吉野》1914年 01：左隻 02：右隻

展覧会

○所蔵作品展「MOMAT コレクション」 3月18日（金） - 5月8日（日）、4-2F 所蔵品ギャラリー

秩父・長瀬の桜を描いた重要文化財、川合玉堂《行く春》を、今年も春のこの時期にだけ公開します。また、雨にけぶる吉野の桜が抒情的な菊池芳文《小雨ふる吉野》、しだれ桜ほか40種類を超える希少な桜が目にも楽しい跡見玉枝《桜花図巻》など、桜を描いた名画が展示室を彩ります。ほかにも、染織、陶磁、竹工、漆工など、春にちなんだ工芸作品も展示、多様な約20点が一室に集まります。千鳥ヶ淵や美術館周辺の桜とともに、美術館で味わう春を是非お楽しみください。

明治から現代まで100年を超える日本近代美術の流れがご覧いただける所蔵作品展「MOMAT コレクション」では、13,000点を超える所蔵作品の中から選りすぐりの約200点を展示します。今期は、2022年で開館70周年となる当館の歴史を振り返るコーナーのほか、展示室ごとにテーマをもうけ、さまざまな切り口で作品をご紹介します。お気に入りの作品を探しながらの鑑賞もおすすめです。

同時開催

○企画展「没後50年 鎬木清方展」 3月18日（金） - 5月8日（日）、1F 企画展ギャラリー

○コレクションによる小企画「新収蔵&特別公開 | ピエール・ボナール《プロヴァンス風景》」

3月18日（金） - 5月8日（日）、2F ギャラリー4

さまざまな催し

○「春まつり🌸オンライン・トークラリー」開催

春まつり恒例の特別企画「春まつりトークラリー」を、今年はオンラインで開催します！オンライン上で桜を描いた作品を中心にじっくり鑑賞しながら、みなさまとの対話を楽しむ対話鑑賞型のイベントです。



03

○桜を見ながらひと休み

前庭に床几台によるお休み処をご用意します。

○春らしいオリジナルグッズ

ミュージアムショップでは、春らしいオリジナルグッズを販売します。



04



05

詳細

■「美術館の春まつり」 開催概要

○所蔵作品展「MOMAT コレクション」 3月18日(金) - 5月8日(日)、4-2F 所蔵品ギャラリー

観覧料：一般 500 円、大学生 250 円（金曜・土曜の 17 時以降は一般 300 円、大学生 150 円）

※高校生以下および 18 歳未満、65 歳以上、障害者手帳をお持ちの方とその付添者は無料

※所蔵作品展入館当日に限り、コレクションによる小企画「新収蔵&特別公開 | ピエール・ボナール《プロヴァンス風景》」もご覧いただけます。

○「春まつり」 オンライン・トークラリー

3月21日(月・祝) 11:00/12:00/13:00/14:00/15:00/16:00 (全6回)

春にちなんだ作品を中心に、展示中の所蔵作品の中から、ガイドスタッフおすすめの作品をオンラインでご鑑賞いただきます。実際に対話をしながら鑑賞する「話して参加」に加え、対話の様子をご覧いただける「見るだけ参加」も可能。対話を楽しみながら、オンラインだからこそ作品をじっくりとご覧いただけるイベントです。なお、春まつり期間中に来館いただいた参加者の方には、特典として美術館オリジナル缶バッジをプレゼントいたします。

※定員：「話して参加」各回 7 名（抽選）、「見るだけ参加」共通 200 名（先着順）、要申込、参加無料

「見るだけ参加」の方は、全ての回を連続して視聴可能です。

※申込方法：3月1日(火) 15:00 より、当館ウェブサイト専用申込フォームから申込を受け付けます。



川合玉堂《行く春》1916 年 重要文化財 06:左隻 07:右隻 08:連結



09 跡見玉枝《桜花図巻》(部分) 1934 年



10 藤沼昇《根曲竹花籃 春潮》2001 年



11 木村雨山《縮緬地友禅訪問着 ばらの花》1967 年

○前庭に床几台によるお休み処をご用意します。散策や鑑賞のひと休みに、桜を眺めながらのひとときをお過ごしください。

○ミュージアムショップでは、《桜花図巻》のマスキングテープやチケットファイル、鍋木清方《築地明石町》と《明治風俗十二ヶ月 四月》から着物柄をデザインした風呂敷など、春らしいオリジナルグッズを販売します。

○「美術館の春まつり」ウェブサイトを開設予定。春まつり展示作品や美術館周辺情報などをご紹介します。

■同時開催

○企画展「没後 50 年 鍋木清方展」 3月18日(金) - 5月8日(日)、1F 企画展ギャラリー

鍋木清方(1878-1972)の代表作として知られ、長きにわたり所在不明だった《築地明石町》(1927 年)と、合わせて三部作となる《新富町》《浜町河岸》(どちらも 1930 年)をはじめとする約 110 点の作品で構成した、大規模な回顧展です。

観覧料：一般 1,800 円ほか

※「没後 50 年 鍋木清方展」観覧料で、入館当日に限り、所蔵作品展「MOMAT コレクション」、コレクションによる小企画「新収蔵&特別公開 | ピエール・ボナール《プロヴァンス風景》」もご覧いただけます。

○コレクションによる小企画「新収蔵&特別公開 | ピエール・ボナール《プロヴァンス風景》」

3月18日(金) - 5月8日(日)、2F ギャラリー4

観覧料：所蔵作品展「MOMAT コレクション」の観覧料でご覧いただけます。

■美術館概要

- ・会場：東京国立近代美術館 東京都千代田区北の丸公園 3-1 (東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b 出口) 徒歩 3 分)
- ・休館日：月曜日（ただし 3 月 21 日、28 日は開館）、3 月 22 日(火)
- ・開場時間：10:00-17:00 金曜・土曜は 20:00 まで
いずれも入館は閉館の 30 分前まで、同時開催の企画展「没後 50 年 鍋木清方展」は 9:30 開場
- ・お問い合わせ：050-5541-8600 (ハローダイヤル) <https://www.momat.go.jp> (美術館ウェブサイト)
※新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、開催内容、開館時間等が変更になる場合がございます。
最新情報は美術館ウェブサイトにてご確認ください。

報道関係のお問い合わせ先

広報担当：高橋、永田 TEL：03-3214-2597 FAX：03-3214-2577 e-mail：pr@momat.go.jp